

いま、なぜ連携なのか

-図書館と教員の連携を考える

5班 教員・学内との連携・協力・分担

2009年10月23日

0. いま・・・@リテラシー

図書館

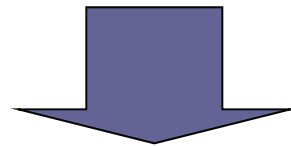
学生

教員

- 図書館に来てもらえない
- 資料が活用されていない
- ガイダンスがカリキュラムと合っていない
- ガイダンスを周知できない→参加者が集まらない
- 予算・人員・資料が足りない

- 勉強のしかたがわからない
- 図書館の使い方がわからない
- 文献の必要性を感じない
- レポートの書き方がわからない
- 単位が取れない

- 忙しい！！
- 学生が
 - ✓ 参考文献を知らない・探せない
 - ✓ レポートの書き方を知らない
 - ✓ 指導する暇がない
- 図書館に何をしてももらえるかわからない



学ぶ楽しさを知らない
図書館が活用できていない



そこで！

1. もし、うまく連携できたら ～メリット
2. 理想の連携のかたち ～ゴール
3. じゃあ、どうする？ ～アクション

1. もし、うまく連携できたら～メリット

図書館

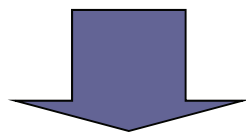
- 図書館資源の有効活用
- 利用者との信頼関係の構築
- もっと来てもらえる
- 労力の軽減
- 図書館の地位向上
→ 予算獲得

学生

- 学習意欲Up
- 学習効率Up
- 図書館との距離が近く
- 単位取得
- すぐれた社会人に

教員

- 指導効率Up
- 学内ネットワーク
- 情報リテラシー力の向上

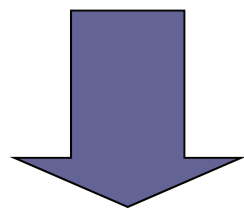


大学の社会貢献

2. 理想の連携のかたち～ゴール

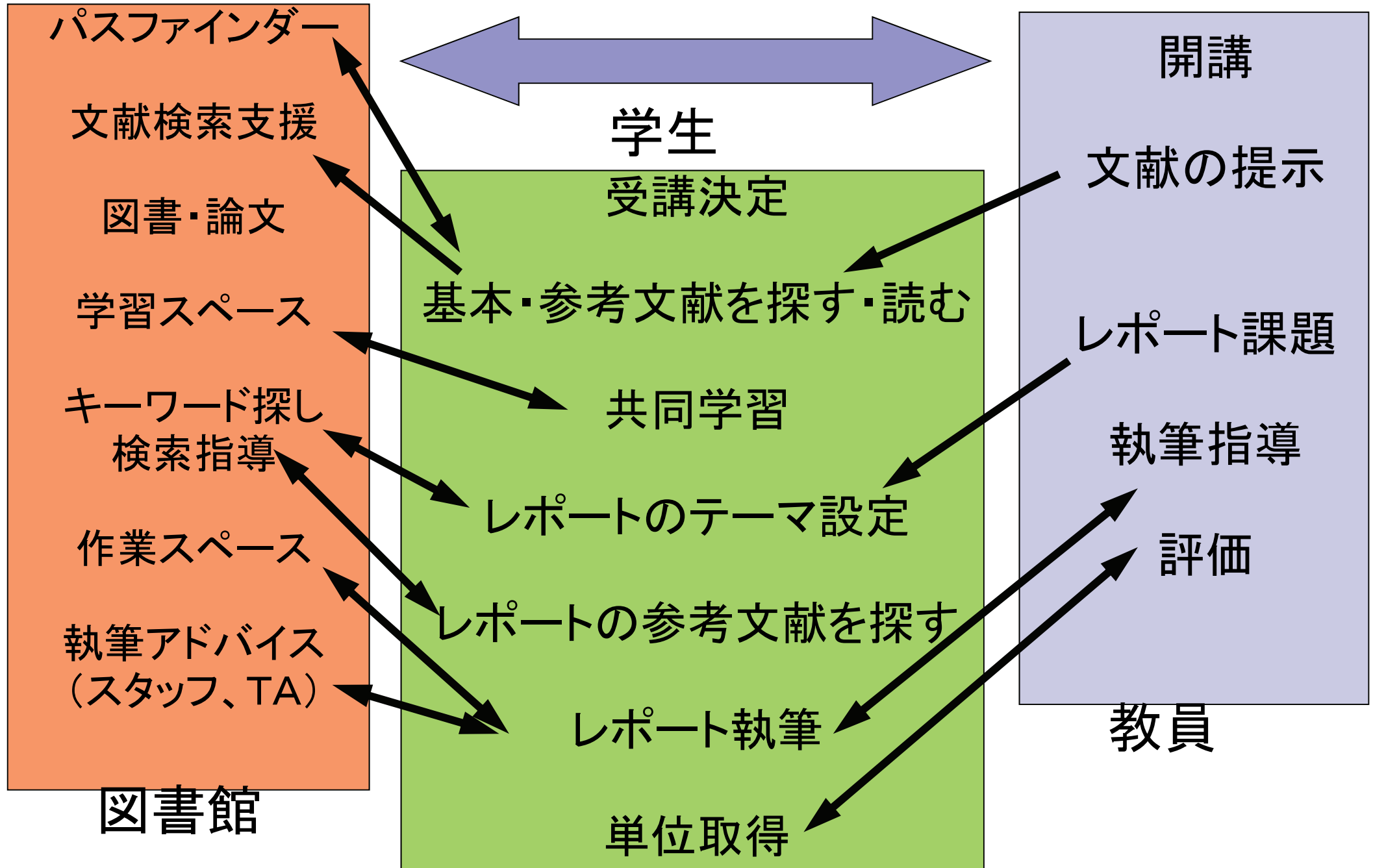
図書館ができることは…

- 手厚い教育・学習支援
 - 時期、テーマ、学生の問題意識に即して
- 図書館主体の情報活用授業提供
 - 他のカリキュラムと関連させて



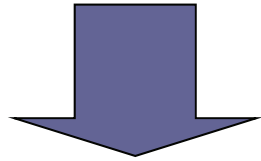
学生の目標達成を大学全体で支える

2. 理想の連携のかたち・・・教育・学習支援

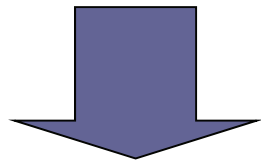


3. じゃあ、どうする？～アクション

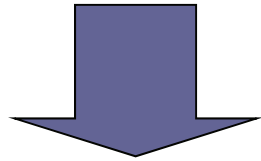
- まず、成功事例を作る



- 成果をもとに売り込み



- さらに広げる



- あたりまえの協働関係に

3 - 1 例) パスファインダー作成

「こんなに簡単に・きれいに作れます！」

: 作りやすいツール・システムを教員に提供

- 「めんどくさい」を軽減
- 「使いやすそう」の印象付け

機能案:

- Amazon, GoogleBookからDrug&Dropで図書を追加
(←blogの紹介リンク機能, booklog)
- OPAC, データベースリストからワンクリックで追加
(←解説も流用可)
- OPAC, データベースの使い方、参考資料の使い方にワンクリックでリンク
- [印刷]ボタンで自動レイアウト
- 学生も「Myファインダー」を作成、共有(←Googleドキュメント)

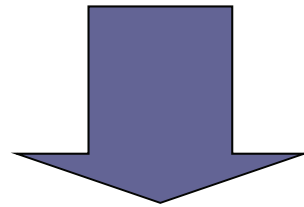
3 - 2 できることから

- 新任教員に図書館案内→人間関係作り
- 協力しやすい教員の授業支援、情報交換
 - 個人的つながりも大事！
- 統計数値の活用
 - 成果の証明
 - 足りないところの視覚化
 - 説得材料に
 - 将来プランの策定
 - 館員の共通認識、現状把握

■ etc.

まとめ

- ゴールを忘れない！
...学生が一番大切
- 人間関係を大切に
- できることからコツコツと



Best のためにまずはBetterから